



日本臨床発達心理士会 第13回全国大会 公開講演

2017年

10月1日(日)

13:30~16:45

つくば国際会議場

大ホール



講演テーマ

改めて見直す

WISC-IVによるアセスメント

一般参加費

1000円

(当日会場受付
で納入)

講演者

大六一志 氏

日本臨床発達心理士会 茨城支部支部長

元筑波大学人間系教授

講演者プロフィール

博士(心理学)、WISC-IV刊行委員、日本特殊教育学会理事、
認知神経科学会理事、日本K-ABCアセスメント学会常任理事、
1996年日本心理学会研究奨励賞受賞



<講演趣旨>

今日 WISC-IV 知能検査に求められている役割は、子どものつまずき(主訴)の原因を理解し、また、対応を提案することです。単に得点が高いとか低いとかいうことを報告したり、それを教科書通りの解釈に置き換えたりするだけでは、WISC-IV を活用したことにはなりません。また、しばしば数値が一人歩きするのを見かけますが、実際には WISC の数値だけでは正しい解釈にたどりつけないことが多く、検査の実施状況や行動観察、背景情報、他検査の結果も収集することが不可欠です。さらに、昨今は本人に特性の自覚を促すフィードバックが注目されるようになりました。主体的な問題解決こそ成長の基本だからです。本講演では、FSIQ および4つの指標得点を中心に、典型的な解釈とそのメカニズム、日常での現れ、支援法・補償法、本人が自覚すべきこと等をお話しします。

主催：日本臨床発達心理士会(運営担当茨城支部) <http://www.jacdp.jp/congress/>

※この公開講座は一般の方の当日参加が可能です。臨床発達心理士有資格者は大会参加費に含まれます。

※裏面につくば国際会議場付近の地図及び問い合わせ先を掲載しています。

